

篠原小学校ストップいじめアクションプラン

めざす学校

いじめを **しない** **させない** **許さない** **見逃さない** 学校

子どものアクション

いじめのない明るく楽しい学校づくり

- ☆気持ちの良いあいさつ。
- ☆正しく適切な言葉遣い。
- ☆欠点を責めず良い所を認め合う。
- ☆児童会は、教職員と協力していじめをなくす活動を進める。
- ☆悩んだり困ったりしたときは、一人で抱え込まず、必ず誰かに相談する。

家庭・地域と連携したアクション

- ☆保護者・地域の方に対し、いじめに関する研修会を開催したり、協議の場を設けたりし、いじめ問題に対する協同の取組を進める。
- ☆あいさつ運動、声かけ運動、見回り活動等、地域ぐるみの取組を進める。
- ☆いじめのSOS早期発見チェックリストを実施する。

教職員のアクション

(1) 一人ひとりの子どもを大切に、いじめをさせない学校づくりを進める

- ☆「いじめは絶対に許さない。いじめられている人を守り通す」ことの共通理解・実践する。
- ☆わかる授業、魅力ある授業に努める。授業を通じて「自己肯定感」「共感的人間関係」「自己決定の力」を育む。

(2) いじめの早期発見に努める

- ☆ささいな変化を見逃さないように、休み時間、昼食時など積極的に子どもと関わる時間を持つ。
- ☆いじめが見逃されないよう、毎学期、子どもとの教育相談を実施したり、いじめSOS早期発見チェックリストやアンケートを実施したりする。

(3) いじめ解消へ向けての基本対応

- ☆いじめの発見、いじめの訴えがあれば、直ちに対策委員会を開く。
- ☆速やかに事実関係の確認を行い、対応策を立て、いじめが解決する（3か月以上いじめが止んでいる）まで指導をする。
- ☆いじめた児童が深く反省し、二度といじめないための指導をする。
- ☆保護者への説明（訪宅または保護者来校。複数で対応、丁寧な説明。）
- ☆すべての児童が傍観者にならないよう、いじめをなくすための行動がとれるように指導する。
- ☆人権・いじめを題材とした道徳・学級活動等の授業を通して、自分たちの行動を振り返る。